

1月12日分

医療的ケアが必要子どもも受け入れ可能！
受け入れたら思っているようにしたら伝わるかな？

まずは1組目の受け入れでできること、必要なものなどを
お聞きしたいから...

電源、マット...
最低限必要なものは何だろう？

箱庭の家
ファミリーで
6年前から1組
受け入れている

普段は他の
時間や部屋を
使っている
工夫

まずは
安心できる
ように

2回目
F1対して
誰かと一緒に
いるといいな



受け入れ可能
場所

SNSでの
発信で
安心して
もらう



Line

オンライン上の
しきりをつくるのも
いいかも



子どもに関する
地域包括
支援センターの
ようなものが
あってもいいな

病院からの
つながり先として
支援センターだけでなく
いろいろな子育て団体に
つなぐことで
お母さんや
家族も
安心できるかも



フランクに行政と
相談できる
関係性大切

出張スタイルで
多くの経験を
届けられるかも

11311312
経験

実験

コンサート



様々な
団体が

行政や司法は
親が自由にできる
ものではない

親が自分の時間をとったり
自分を満たせる何かが必要

医療的ニーズが必要だと
接する機会が
あれば
接し方も
わかってくる

専門的知識の
ある人に関わってもらうことで
接し方も学んでいく



レスパイト
ケア
(介護者に対する
ケア)

子どもにも
ゆとりをもつ
接することができる

医療系資格を
もっている人が
ボランティアで
自分の力を
役立てる仕組み

「すみません」と
言わないルール



フラットな
関係づくり

親子一緒に
活動だけでなく
親を満了するための活動も
してきたい!!

段階を重ねて
交流を行うことが
大切

親子だけの
関係で
閉じて
しまふ



託児付きの
親のための
イベントも

障害のある
お子さんと
ふれあいがちな
発表の場も
ある

一歩ふみ出さ
きっかけが大切

専業主婦で
子どもとの距離が
近くなると...
いびつな関係に
なりがち...

まずは自分たちが
楽しもう♪

家で練習する中で
子どもも興味を
もったり

後から子供は
少人数だと
いざいざか
たかるかも

